

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		帯広あおぞら				公表日	令和 8年 3月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・安全面の配慮を考えた上で、部屋の使い方を考えるようにしています。	・利用定員にあった部屋の広さではありますが、今後も安全面を配慮し、部屋の使い方を考えていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・子どもの状態やその時の活動内容に合わせ、職員の配置の検討を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3		・子どもたちが活動を選ぶ等、自己決定の環境への配慮は、視覚支援等を出来る所で行ってはいますが、まだまだ部分的であり改善が必要と考えています。 ・設備は、バリアフリー化されていない為、肢体不自由のお子さんへの環境上の配慮、工夫等必要に応じて考えていきたいと思えます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		・清潔さや、心地よく過ごせる環境を大切に考えてはいますが、使用後の片づけ等、できていない所があります。職員で意識し、取り組んでいきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1		・部分的に出来ている所、出来ていない所があります。定着してできるよう、意識していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		・法人内の職員の意見、客観的な評価を聞きながら、必要な箇所は見直していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・外部機関主催の研修への参加や、法人内で学習する機会を設けるようにしています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		・保護者に、二一の記入をお願いしていますが、聞き取りの不十分さもあると思います。子どもを様々な視点でとらえていけるよう、努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		・日常的に、職員全体でチームとして支援を行っていますが、まだまだ不足点もあると思います。意識して質の向上に努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・朝の打ち合わせや会議、もしくは会議録の閲覧等で必要な情報共有を行っています。	・日常的に話しをするよう、心がけていますが、より意識し向上していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・リハビリの様子や発達検査の結果など、関係機関の情報を、保護者の方から用紙を受け取ったり、様子をお聞きし、支援に活かしています。	・今後も、関係機関やご家庭の様子、あおぞらでの様子など、お子さんの様々な場面での様子や課題を広く把握し、支援に活かしていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		・ガイドラインに沿った支援内容の設定を行っています。今後も、お子さんに合わせた支援の具体的内容を設定していけるよう、お子さんの様子の把握に努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		・遊びの内容が同じでも遊び方を変えて意図して、固定化、継続する事があります。その固定化の中で、ステップを加えたり、変化を意識し取組んでいる事を、保護者へ伝えきれていない所があります。 ・遊びの種類、方法を広げていく事も課題です。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・お子さんの様子、状況に合わせ、クラスを越えて活動内容を検討したり、個別、集団を行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		・支援の振り返りを次に生かしていく為、更に意識して取り組んでいきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		・支援の検証・改善を今後も意識して行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		・日々の中で、モニタリングを意識し、次の支援計画に活かしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		・関係機関との連携は支援において大切な事なので、連携しやすい体制、必要に応じて調整を図っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		・移行先でも、お子さんが安心して過ごせるよう、支援内容の情報共有を今後も行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0		・運動会、お遊戯会は施設に併設しているつばさ保育所と、合同で行っています。また日常の中で、子どもたちの交流をお子さんの様子に合わせながら、行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		・日々の中でできる範囲で行ってはいませんが、課題を感じています。今後、ICTの導入を検討しており、うまく活用する中で、共有理解に繋げていけたらと考えています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9		・家族支援プログラムや、家族が参加できる研修の機会等については課題があります。今後、検討していけたらと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		・保護者にご記入いただいたニーズの用紙をもとに、確認しています。又、日常の中で、お話しする機会を心掛けていますが、十分な話ができていないのが現状です。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		・定期的に、面談の機会を設けています。その他、保護者からのニーズや必要性に合わせて、迅速に対応するよう心掛けています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0		・父母会の力を借りながら、保護者の交流する機会、場を設けています。さらに内容を検討し、実りある活動にしていきたいと思えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		・今後、ICTを導入予定なので、保護者との意思の疎通をより円滑に進めていける具体的な活用方法を検討していきたいと思えます。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・法人理念の一つとして、地域に開かれた施設運営を大切に考えています。地域、関係機関をいつでも受け入れていく体制づくりを今後も目指していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・年間通して、安全に支援を行えるよう、必要な研修、訓練を行い、都度職員で確認を行うようにしてきました。	・研修、訓練は行ってきましたが、まだまだ十分ではないと思います。迅速な対応ができるよう、今後も必要な研修、訓練を繰り返し、行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		・おたより等で、取り組みについてご家庭への周知を行ってきましたが、お知らせするのに、時間のずれがありました。ICTの活用を行い、すぐにお知らせ周知できるように活用して行きたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	9	0	・その日の内に振り返り、対策を考え、記録に残します。その後、打ち合わせでの報告、記録の回覧等で情報の共有を行い、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		